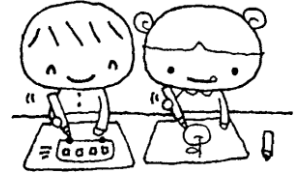


おひさま



令和5年2月28日

<今月の満3星組さん>

○ナスちゃんやレンコンちゃんと

作品展の後、みんなで作った「ナスちゃん」や「レンコンちゃん」と遊んでいます。ナスちゃんに「ごはんあげる。」とおままごとのごはんを食べさせてあげたり、「レンコンちゃん、注射です。」とレンコンちゃんにお注射をしてあげたりしています。すっかり、みんなの仲間です。

○上着、しまえる？

「〇〇くん、シャツ入れるの、先生、見てるよ。応援するよ。」とトイレの後に投げかけると、〇〇くんが一生懸命、ズボンの中にシャツを入れようとします。「そうそう、ズボンの中に手を入れて。」「うしろも入れるよ。」「上手、すてき。」と応援され、励まされながら、頑張っています。「先生、わたしもできるよ。」の声で、応援しながら見ていると、昨日はできなかったお友だちが今日は前だけシャツを入れることができました。「〇〇ちゃんも、すごい。すてき。」こんな毎日を続けながら、子どもたちは成長していきます。

<今月の年少星組さん>

○人参の収穫をしたよ

人参を収穫しました。「先っぽじゃなくて、根元を持ってひっぱるんだよ。」教師の説明にひとりひとり葉っぱに手を伸ばし、引っ張りました。「とれた。」「かわいい。」という声や「大きいよ。」という声が上がりました。初めての体験でにこにこの子どもたちです。お家に持ち帰りました。育てた人参はおいしかったかな。

○ことばの遊び

「丸。三角。四角。」「大きい。小さい。」の言葉を勉強しました。その後「大きい丸の島に、逃げてください。」と言うと、お友たちがホールの床に作った大きい丸の島に逃げます。すると、ワニのお面をかぶった教師が出て来て、お友だちを捕まえようとしますが、お友だちはみんな、ちゃんと逃げているので、捕まりません。「小さい三角の島に逃げてください。」「大きい四角の島に逃げてください。」と続いています。子どもたちは大喜びです。楽しい時間でした。

<今月の年中花組さん>

○作品展が終わって

子どもたちは、海賊船にのったり、おじいさんとおばあさんの家にはいたり、楽しみました。子どもたちも大満足の作品展になりましたが、最後にいろいろなクラスのテーマとなった絵本を全部読んでみました。「はだかの王様」では「それで、王さまが、はだかだったんだ。」「花さかじいさん」では「桜、いっぱい咲いてたね。」「おじいさんが、桜の木にのってたよ。」と作品展と絵本のお話を結び付けていました。

○縄跳び

1月から毎朝、練習をしてきました。最初は、全然跳べなかったお友だち、跳べなくて練習するのも、いやだったお友だちも、毎日毎日練習するうちに少しずつ、跳べるようになっていきました。「先生、数えて。」「今日、最高記録。」「もう一回数えて。」「今日は20回跳ぶんだ。」と毎日かんばってきました。縄跳び大会で跳べた回数はその子その子で違いますが、花組さん全員が毎日、練習することで、上手になっていくことを経験できたことがとてもうれしいです。

<今月の年長雪組さん>

○作品展ありがとうございました

作品展当日は、「あれだよ。」とお家の人に自分の作品を見てもらう子、自分の作品をお家の人に見てもらうのが、うれしいようで何回もクラスに戻ってくる子、「はだかの王様」や「花さかじいさん」のお話を説明している子等、得意げな子どもたちの姿がありました。作品展後の登園日、お家の人に書いていただいたコメントカードを読み上げると、一人一人に宛てた言葉に喜んでいました。ありがとうございました。

○縄跳び大会

練習中、個人個人に目標の回数を考えるようにさせた所、子どもたちも目標をもって、毎日の練習に取り組むようになりました。「記録更新したよ。」と教えてくれる子、後ろ跳びを頑張る子、ケンケン跳びや駆け足跳びに挑戦する子も出てきました。

縄跳び大会では、練習よりたくさん跳べた子、そうでない子もいました。中にはいつもより跳べなくて、泣けてしまう子もいました。それぞれ、いろいろな気持ちを経験することができ、子どもたちの成長につながっていくと思いました。緊張から解放され給食の時はみんな「縄跳び大会お疲れさま！」とみんな乾杯しました。